

歴史・文化サイトカード

通しNo.	1-C-2	更新日	2025/2/20
サイト名	古代出雲を守護した神名榎山 <small>かなびやま</small> ～茶臼山 <small>ちやうすやま</small>		
基本情報	区分	<input type="checkbox"/> 有形 <input type="checkbox"/> 無形 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
	所在地	松江市山代町	
	指定別		
	種別		
	指定／登録年月日		
	管理団体／モニタリング		
	周辺施設／アクセス	<input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 売店 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input type="checkbox"/> 駐車場(台) 山陰道 松江東インターから約4km、約10分。出雲国庁跡駐車場から北に見える。	
留意点	2022(令和4)年度にジオサイトから文化サイトに見直した。		
サイトの解説	歴史・文化	奈良時代の『出雲国風土記』では、神名榎山(かなびぬ)と呼ばれ、神聖な山であり、ふもとに位置する島根県最大の前方後方墳である山代二子塚古墳をはじめ、出雲国府跡、真名井神社などがあり、付近一帯は古代出雲の中心地として栄えた地であった。また、中世には交通の要所と見晴らしの良さから山城として利用された。 周辺には真名井の滝、真名井神社、山代二子塚古墳、出雲国府跡などの名所や史跡などが多数見学でき、この地が出雲国の中心であったことを実感できる。	
	地形・地質、生物・生態等	約1000万年前に活動したアルカリ玄武岩の溶岩で構成され、標高171mの山体を形成している。含まれる主な斑晶鉱物はかんらん石、単斜輝石、斜長石であり、同時代に噴出した松江市内の玄武岩類に比べて斑晶の占める割合が多く、かんらん石が多く含まれているのが特徴で、肉眼でも綺麗なかんらん石の斑晶を容易に観察することができる。クロムスピネルを含有しており、初生的なマグマの特徴を保持していると考えられている。ハイキングコースになっており、山頂からは松江市街や宍道湖・中海を見渡せる。	
写真・図等			
	茶臼山		茶臼山頂上からの眺望
参考文献			

